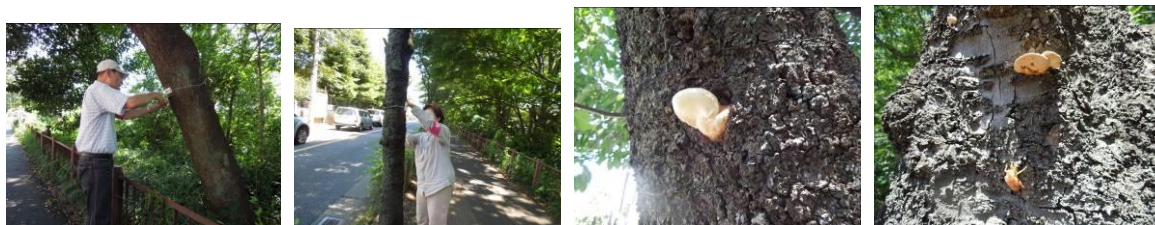


1、全体
 本年度樹勢調査のために、7月度のパトロールでチェックした番号札の欠落箇所の補充を中心に8月度のパトロールをした。上水への往復路は流石に暑かったが、暦の上では立秋を過ぎたと思うと、この暑さも名残惜しいようにも思う。上水は木々の葉がすっかり濃くなり蝉しぐれが賑やかだった。



右岸 ① ② ③ 左岸① ②

2、桜樹
 今年は虫害が割合少ないと、先日の桜例会で報告する方もいたが、第2ブロックの桜樹たちはスカスカのレース状の葉になったものが多く、とても残念だ。
 本日の番号札の補充は、右岸・・No.884、No.910、No.926、No.952の4本、左岸・・No.202、No.221、No.227、No.263の4本、の計8本。No.240とNo.271-1の2本は外れかかっていたので取り付け直した。更に本日、No.883の番号札が欠落していたので次回に取り付ける。



番号札の取り付け① ② No.231のキノコ No.892のキノコと蝉の抜殻

昨年ナラタケモドキが発生したNo.939の根元に、本日も7月と同様の形がはっきりしないが、ナラタケモドキと同じ色のキノコがつぶれたような痕が沢山あった。他の桜樹の根元には見られず、No.939の根元のみで見られるのが気になる。触ってみるとホロホロと粉状になった。とても乾いた感触だった。



No.939の枯れた状態と根元① 根元② 根元③



